

『梟と番様』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『梟と番様』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『梟と番様』を読んだことのある10代～50代の男女13名
調査期間	2025年9月12日～2025年9月13日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hukuroutotugaisama/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『梟と番様』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	0人
30代女性	0人
40代男性	5人
40代女性	3人
50代男性	5人
50代女性	0人

Q2:『梟と番様』の感想を教えてください。

『梟と番様』1巻	この作品のヒロインユフィリアの境遇がちょっと切ないですね。婚約者エリオスには雑に扱われ妹アリスにはたくさんの迷惑をかけられとちょっとかわいそうな境遇なところが逆に応援したい気持ちを高めてくれています。そんなユフィリアがある梟と出会ったことで物語が動き始める流れがとても面白いですね。この先どのような展開になるのかと気になること間違いなしです。
『梟と番様』1巻	病弱でワガママな妹ばかりを優先する家族と浮気性の婚約者を持つドアマットヒロインという定番の設定ですが、そこに獣人や番という要素が加わっていることで、より面白くなりそうなストーリーだと感じました。最後に出てきた梟は表情も動きもとても豊かで可愛らしく、もしこの梟がゼイングロウの獣人だとしたら、人間バージョンの姿はどんな感じなのかな？と期待が高まりました。
『梟と番様』1巻	ユフィリアの不幸さには驚かされました。序盤のエリオスの様子からもそれはうかがえましたが、私の予想をはるかに超えていました。ユフィリアへの仕打ちはあまりにもひどすぎます。いくらなんでもアリスが酷すぎるでしょう。作品の世界観的に一人暮らしするのは難しそうですが、一刻も早く立ち立って欲しいですね。気掛かりなのは王宮からの連絡です。プライスはゼイングロウの番探しではないかと考えていましたが、これがユフィリアにとっての転機になるかもしれません。婚約者がいる立場とはいえ、国交問題に発展すればエリオスとの婚約破棄も十分にあり得ます。もしゼイングロウに嫁ぐことになれば、実家からも抜け出せるので、今後の展開に注目したいと思います。
『梟と番様』2巻	1話での梟の不思議な動きは求愛ダンスではないかと考えていたので、彼がユフィリアの番であることは予想通りでしたが、番と出会えたことで浮かれまくっていたり、ユフィリアに対する家族の仕打ちを察してとても怒っていたりと、意外と子供っぽい感じがする素直なキャラクターでかわいいなと思いました。穏やかで優しい性格のユフィリアとは相性ピッタリな気がするので、ヨルハの想いが通じてはやく2人が結ばれたら良いなと思いました。
『梟と番様』2巻	登場してくる人物が様々に増えてきた状況だったので、これからその増えてきた登場人物がどうヒロインに絡んでくるのか、ワクワクしながら読めました。また、そんなヒロインも家族と綺麗に縁が切れたような展開ではありましたが、本当にこのまますんなりと決別できるとはあまり思わないので、今後どうなるのか尚更気になっています。
『梟と番様』2巻	ヨルハの熱愛っぷりが非常に気持ち良かったです。ユフィリアしか眼中にないという感じも素敵ですが、番とする為の行動もテキパキとしていて爽快でした。ただ、心配になる要素もあります。ユフィリアは家族どころか侍女達からも酷い扱いを受けていました。大好きな女性がそんな仕打ちを受けていると知れば、なんとかしたくなるもの。それに獣人にとって番の敵は最も憎むべき対象のようですし、やり過ぎてしまうのではと不安に感じました。
『梟と番様』3巻	ユフィリアが冒頭から父親に叱責されてしまう場面が興味深いです。その原因はほとんどが妹のアリスなのに、なぜか嫉妬がユフィリアにくる感じが本当に可哀想ですね。でもユフィリア本人は「こんなこと日常茶飯事」とばかりに達観した感じで父親に接していて、すごく格好良く見えました。ユフィリアの目が座っていて何を考えているのかわからない感じがとても素敵です。
『梟と番様』3巻	もっとバーバラ王妃と早く出会えていたら良かったのにと痛感しました。家族はおろか婚約者のエリオスですら、ユフィリアに杜撰な扱いをしてきました。もしバーバラ王妃のようにユフィリアの真価を見抜ける人が傍にいたなら、このような扱いは受けなかったはず。もっと早く出会っていたなら、実家での地位が上がったでしょうし、エリオスのような男を婚約者に充てがわれなかったのになあと悲しくなりました。気になったのはヨルハからのプロポーズです。初対面の男性からプロポーズされても、ユフィリアは受けようがありません。そんな当たり前がわからないほどヨルハは動揺していますし、断られたことでどのような行動に出るのか心配になりました。
『梟と番様』4巻	獣人と違って番がわからないユフィリアにヨルハの気持ちが伝わっていないのがとてももどかしいと感じました。また、王様と王妃様がきちんとユフィリアの置かれている辛い境遇をしっかり把握してくれていることに、驚かされつつも安心しました。しかも王家が全面的に2人の婚約を後押ししてくれそうなので、これでアリスに妨害される心配はなくなったかなとホッとしました。
『梟と番様』4巻	だんだんとシンデレラストory感が強くなっており、最初がかなり嫌な展開が続いていた分、読んでいるこちらまで幸せを実感した気持ちになりました。また、溺愛っぷりもリアリティはあまりな

	いものの、それでも幸せになってもらいたいといった思い一新だったので清々しい気分になれましたし、ヒロインの感情も戻りつつあり、更に目が離せなくなりました。
『梟と番様』4巻	バーバラ王妃の慌てぶりが楽しめました。ヨルハがいきなりプロポーズするなんて想定外だったのでしょ。この辺りはヨルハが暴走したのもありますが、文化の違いもありそうに思います。ヨルハは人間ではなく獣人なのですから。ヨルハに計算外の行動をとられ、血相を変えて止めに入るバーバラ王妃の姿が面白かったです。結果的にユフィリアにとっては良い話だなんて思いました。現時点だとユフィリアはヨルハがどういう人なのかわかりませんし、不安に感じる気持ちもわかります。でもエリオスと結婚するよりは、マシになることは間違いないでしょう。最初は戸惑っていたユフィリアもその事についてはすぐ気づいていましたし、思い残すことなく嫁いでくれればいいなって思いました。
『梟と番様』5巻	とにかくユフィリアの用心深さがとても興味深いですね。ゼイングロウの皇帝が自分に一目惚れしたと聞き、不安に思う姿がとても面白く映ります。皇帝様と全く繋がりがなさすぎて色んな資料を元にゼイングロウに関してのことを調べまくる姿がとにかく可愛いですね。ユフィリアの性格が見事に反映されている姿にとっても好感が湧きました。
『梟と番様』5巻	贈り物からヨルハの熱愛っぷりが伝わってきました。高級な物を沢山贈るといだけでなく、ユフィリアに喜んでもらえるものを贈ろうとしているところからも、愛情の深さが伺えます。例えば錬金術に関する書籍。普通は女性にプレゼントするものではありません。ユフィリアの好みを調べて選んだわけで、ユフィリアを思いやる気持ちを感じられてとても良かったです。気掛かりなのは実家です。流石にハルモニア伯爵ともなれば、ユフィリアの婚約者となった人物がゼイングロウの王であることぐらいは理解しているでしょう。にもかかわらず、まだアリスの我儘を優先しています。自分達の立ち位置を全く理解していないようですし、今後何かやらかしそうだと不安に感じました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス